

## 人文・文化学群学群コアカリキュラム

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AA11111	人文情報学	1	1.0	1-4	秋AB	火5	堤 智昭	人文情報学に関する講義・演習。人文学分野への情報技術応用に関する講義、及び演習を行う。演習では、情報分野で使われているプログラミング・データベース・ネットワークについて実際にコンピュータを使いながら学習する。	対面
AB60A11	哲学通論-a	1	1.0	1・2	春AB	火1	檜垣 良成	哲学するとはどういうことかを徹底的に体得してもらう(他専攻・他学類歓迎。ただし、電子シラバス熟読のこと)。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) オンライン(同時双方向型)
AB60B21	倫理学通論-b	1	1.0	1・2	秋AB	木4	千葉 建	引き続き倫理学の基本的概念と方法について考察する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面 日本語での授業であり、それに対応可能な短期留学生は受け入れる
AB60C11	宗教学通論-a	1	1.0	1・2	春AB	金3	保呂 篤彦	世界の諸宗教伝統や現代世界における宗教をめぐる諸問題に関する基本的な情報を提供するとともに、宗教研究(広義の宗教学)の諸相を概説する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面
AB70B21	古代西アジア史概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	NT		楔形文字文化圏に重点を置き、紀元前二千年紀後半から一千年紀の古代西アジア史を講義する。	この科目は人文・文化学群人文学類の専門基礎科目であるため、受講希望者が多い場合には受講制限をかけ、人文・文化学群の学生、人文・文化学群に進学を希望する総合学域群の学生、並びに教職科目として受講する社会学類・地球学類の学生を優先する可能性がある。 オンライン(オンデマンド型)
AB70C11	中国史概説-a	1	1.0	1・2	春AB	木4	上田 裕之	「草原と中華の関係史」前編:農耕の始まりから12世紀まで。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面
AB80B21	考古学概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	木3	滝沢 誠	考古学とはどのような学問か。考古学の射程と限界について、研究の到達点と問題点に言及しつつ解説する。とくに、日本考古学の成果と課題について講義をおこなう。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面
AB80C11	民俗学概説	1	1.0	1・2	春AB	金4	中野 泰	日本の民俗学の誕生と、20世紀における展開について、柳田国男等の研究者を取り上げ、その思想と方法に焦点を当てて概説し、家・家族の民俗に焦点をあてながら、民俗学的思考法の課題と可能性を考察する。	考古学・民俗学専攻希望の学生はAC50E11と合わせて民俗学の専門基礎科目とする(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面(オンライン併用型) manabaで後日通知する
AB90A11	言語学概説-a	1	1.0	1	春AB	木3	宮川 創, 堤 智昭, 山岡 翔	言語学の各分野および人文情報学について概観することで、言語を分析するための基礎について学ぶ。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面 状況によってはオンラインに変更する可能性があります。
AB90B21	応用言語学概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	火6	平井 明代, 高木 智世, 小野 雄一, 小泉 利恵, 田川 拓海, 土方 裕子, 柳沢 明文	応用言語学全般にわたり概説する。	オンライン(オンデマンド型), オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
AB90F21	英語学概論-b	1	1.0	1・2	秋AB	火5	山村 崇斗	英語の統語的特性および形態的特性を、日本語や古い英語と対比させながら概観し、形式が語順などの統語面や形態などの語彙面にどのように反映されているかについて考える。また、英語の方言や多様性、他言語との接触についても検討し、国際共通語としての姿を理解する。	履修制限を設けることがある。★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)オンライン(オンデマンド型)
AC50A41	日本研究概論II	1	1.0	1・2	春AB	木4	山澤 学	日本研究に関する基礎的知識と研究方法について、参考文献や地域資料の講読を通じて、日本史(文化史・社会史)の視点から考察する。日本史における通史を意識しつつ、I. 日本をめぐる歴史認識と思想状況(第1~3回)、II. 日本史を視る眼(第4~7回)、III. 日本研究と「事実」(第8~10回)に関する論点を検討する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)G科目、実務経験教員、対面
AC50A91	アジア研究概論	1	1.0	1・2	秋AB	金3	山本 真, 横山 剛	アジアの社会と文化について、歴史を概説する。地域を東アジア圏、南アジア圏にわけて、時代相の大きな画期に留意しつつ、歴史の展開と地域間の交流を検討する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) AC50151, AC50161の単位取得者は履修できない。対面
AC50E41	文化地理学概論	1	1.0	1・2	春AB	火3	森本 健弘	文化地理学とは何かについて、およびその基礎概念である文化地域、文化生態、文化景観等について、具体的な事例を交えつつ講義する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)対面 AC50551の単位取得者は履修できない。
AC50G01	先端文化学概論	1	1.0	1・2	秋AB	木3	対馬 美千子, 濱田 真, 山口 恵里子, 廣瀬 浩司, 山口 有梨沙	文化についてどのような観点から論じることができるか。近現代ヨーロッパを中心にさまざまな文化事象や文化理論を取り上げながら、文化学の多様なあり方について考察する。	対面(オンライン併用型)★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) AC50701の単位取得者は履修できない。
AC50H71	比較宗教概論II	1	1.0	1 - 3	秋AB	木3	木村 武史	人類の宗教史を通じて多様な宗教現象が形成された。今日まで継続しているものもあれば、過去において途絶えたものもある。宗教現象は多様な要素で構成されるため、宗教へのアプローチも多角的になる。本授業では、宗教の学説史において重要な著作や視点を学びながら、具体的な宗教現象についても知識を深めていく。先住民宗教、アジア・日本の宗教を取り上げる。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)対面 AC50861の単位取得者は履修できない。
AE53B31	言語学概論	1	1.0	1・2	秋AB	木4	澤田 浩子, 石田 尊, 今田 水穂	人間言語の特徴とはどのようなものなのかという問題を念頭に置きながら、科学的言語研究のための歴史的背景、方法論、具体的分析方法などについて学ぶ。	対面
AE53B41	日本語教育概論	1	1.0	1・2	秋AB	木6	田中 祐輔	日本語教育について理論と実践の両輪から幅広く学ぶ科目である。世界の日本語学習ニーズ、共生社会における日本語教育の役割と日本語教師に求められる資質、日本語の教授法、語彙と文法の説明の方法、日本語教科書と使い方、国際交流と日本語教育の歩み、国家資格や役立つ検定試験の対策などについて解説する。	対面
AE53B51	日本の文学概論	1	1.0	1・2	春AB	火3	江口 真規	日本の文学が海外の文学との関わりの中でどのように形成され評価されてきたのか、主に英語圏を中心とする日本文学の翻訳・受容との比較を通して学ぶ。	対面 短期留学生の場合、人文・文化学群に所属している留学生に限る。日本語能力中上級以上。日本の近現代文学を原文で読める能力が必要。